

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	18HP1001	事業期間	平成30(2018)年度～ 令和4(2022)年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
産業衛生学に関する包括的な研究成果の 国際情報発信を電子媒体を活用して強化 する取組		公益社団法人 日本産業衛生学会	理事長・川上 憲人
学術刊行物の名称			(略称)
Journal of Occupational Health			JOH

【令和2(2020)年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
○ A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が 適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>補助事業期間完了までに、以下1)から4)の取組により、インパクトファクター値を2.71まで上昇させ、関連領域における雑誌ランクを上位25%以内まで上昇させることを目指している。</p> <p>1) 論文投稿数の増加 2) 総被引用数の増加 3) 掲載論文へのアクセス及びPDFダウンロード数の増加 4) 海外編集委員の再編及び海外査読者数の総査読数に占める割合の増加</p> <p>これまでの取組は評価でき、また、それなりの成果を挙げてきていることから、今後の努力により、目標値の達成が見込まれる。一方で、補助事業期間終了後の財政計画については見直す必要があり、十分な検討が必要と判断する。</p>	